

びわ北小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		小観音寺町 No.1	高山キャンプ場 No.2	No.3												
月	日	時	刻	5月27日	9時00分	6月29日	9時00分									
天	気			晴れ		曇り										
水	温 (°C)			17.5 °C		18.0 °C										
気	温 (°C)			28.5 °C		25.0 °C										
川	幅 (m)			0.9 m												
河	川 名			高時川		草野川										
生	物 を 採 取 し た 場 所			全面		川の左岸										
水	深 (cm)			5.0 cm		30.0 cm										
流	速 (cm / s)			20.0 cm/s		40.0 cm/s										
水	のようす	指標生物														
I きれい	1	カワゲラ類					●									
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類					○									
	3	ヒラタケロウ類					○									
	4	ブユ類														
	5	ヘビトンボ類					○									
	6	カガシボ類					○									
	7	サワガニ			○		○									
I・II 共通	8	ウスムシ類					○									
	9	2以外のトビケラ類			●		○									
	10	3、14以外のカゲロウ類			○		●									
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類														
	12	ジジミ類			○											
II・III 共通	13	カワニナ			●		○									
III よごれている	14	サホコカゲロウ			○											
	15	ヒル類			○											
	16	ミスムシ			○											
	17	モノアラガイ														
III・IV 共通	18	サカマキガイ														
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ			○											
	20	イトミス類														
	21	ハナアブ類														
水 質 判 定 表	水のようすの区分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)			3	4	4	1	9	4	1	0	0	0	0	0
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)			1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	合 計 (1欄+2欄)			4	6	5	1	11	5	1	0	0	0	0	0	0
判定結果(合計が最も大きい区分)			II				I									

調査考察、活動内容等

本校では、総合的な学習の時間において「早崎ビオトープ学習」というテーマのもと、学区内にある早崎ビオトープの水環境や自然の変化を観察しながら学習を進めてきました。また、河川の水環境の学習は、5月末に学区内の小観音寺町を流れる川を親子で観察しました。去年と同じ地点で観察を行い、川や水の様子・水生生物について調べました。

(1) 早崎ビオトープ学習

5月16日に地域の専門家に来ていただき、早崎ビオトープの歴史や自然について詳しく教えていただきました。早崎ビオトープは日本最大のビオトープ実験地で、豊かな自然を取り戻すための活動が進んでいます。ビオトープ実験調査が始まってから、ヒシの実やコハクチョウが年々増えてきていることを教えていただきました。また、昔の漁法を学ぶ機会として、地域の専門家の先生に教わりながらペットボトルで作る「びんづけ」という仕掛けを作りました。

6月14日に現地で調査をしました。早崎ビオトープは、水深が年々深くなってきており、中に入って生き物をとることが難しくなっています。そこで、前の日に仕掛けておいた、「もんどり」を引きあげました。中には小魚やザリガニが入っていました。同時に仕掛けておいた網の中には、大きなフナやカメが入っていて、子どもたちはびっくりしました。

最後に「地引き網」体験をしました。地引き網では底にすむ生き物を採取することができました。藻がたくさんあって、一目では見つけられませんでした。多くの生き物がすんでいることに気がつきました。



採取・観察した生き物、植物

フナ、カムルチー、テナガエビ、スジエビ、メダカ、ドンコ、イサザ、ムツゴ、ヨシノボリ、タイコウチ、ヤゴ、カワニナ、サカマキガイ、ミドリガメ、ヒシ、ヨシ、ガマなど



《環境日記より》

- ・ もんどりには、小魚や大きなカムルチー入っていた。大きなフナ等がいることがわかった。
- ・ 地引あみで取れた水生生物の名前を知ることができた。
- ・ 早崎ビオトープの水はにごっているけれど、その中でもたくさんの魚など生き物が生きていることを知った。
- ・ 採取した水生生物を観察し、教室でプリントにまとめることができた。
- ・ ビオトープのまわりには、ヨシ、アシ、マコモ、ガマなどの植物がたくさん生えていた。
- ・ カムルチーなど外来魚がたくさんいるんだと分かった。

(2) 学区内の小観音寺町の川で水生生物親子観察会

「親子で水生生物を採取し観察しよう」と計画し、5月27日に親子で小観音寺の川や水路で観察会を行いました。

水生生物に詳しい地域の方を講師に迎えて採取の方法や観察の方法について説明を聞きました。

最初、網を使って水生生物をとろうとしましたが、なかなかとれませんでした。そこで、金網に変えて川底を足でこすると、多くの水生生物がとれました。親子で楽しく活動し、様々な生き物に触れることができました。観察会のまとめをして、びわ地域の川の水に目を向けるよい機会になりました。CODの水のパックテストをすると③で「少し汚れた水」でした。

採取・観察した生き物

カワニナ、ヒル、ミミズ、
ナベブタムシ、アメリカザリガニ、
ヨコエビ、ツツビケラ、
コカゲロウ、ヤゴ、ミズムシ、
ドジョウ、ヒゲナガトビケラ、
サワガニ、モンカゲロウ、
スジエビ、ユスリカ、
タニシ、ハグロトンボの幼虫、
カメなど



《環境日記より》

- ・ 川の流れがはやいところとおそいところがあった。
- ・ 水の中よりも、川底や田んぼの水路（土）にたくさんの水生生物がいることがわかった。
- ・ 小観音寺の川は三面コンクリートの川だと分かった。
- ・ 身近な川にもたくさんの生き物がいることがわかった。
- ・ 植物がたくさんあって生物たちもすみやすそうだった。
- ・ 特に田んぼの水路は、川の水が汚かった。
- ・ 川底に石や小石、どろなどがあった。
- ・ きれいなところに住む、水生生物もいた。
- ・ 去年よりも、水質階級はさがっていた。

(3) やまのこ学習

6月29日に高山キャンプ場で「水生生物の調査・観察」を行いました。学区内の小観音寺町の川と高山キャンプ場の草野川上流では水や生き物にどのような違いがあるか観察しました。

活動をしながら、学区内の小観音寺町の川ととれる生き物の種類や大きさが違うことに気づき、水の透明さにも驚きました。また、とれる指標生物は「I」のものが多く、草野川上流の水のきれいさを知りました。



(4) 環境学習の発表

12月10日に、リュートプラザで旧びわ町の時代から活動しておられる「びわ地区青少年健全育成会」の主催する「湖のまちミニ・フォーラム」で、校区の川やビオトープの水生生物調査の結果や考えたことを発表しました。たくさんの方に取り組みを聞いていただき、学習のよい発表の場となりました。

(5) 環境学習のまとめ

今までの環境学習を振り返り、考えたことをまとめました。

- ・ それぞれの水の環境にあった水生生物や生き物がいた。
- ・ 環境が変わってしまうと育ちにくくなる生き物もある。
- ・ 地域の人々の努力で、ビオトープというすばらしい自然ができた。
- ・ これからも自然を大切に、できることを考えたい。